

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成30年1月25日（木）

【協議事項】

1 指定暴力団三代目福博会の第7回指定について

（暴力団対策部）

警察本部から「福岡市博多区に主たる事務所を有する三代目福博会については、暴力団対策法第3条各号の指定要件を満たしていることから、同法に基づき、7回目の指定暴力団としての指定をすることにつき御審議をお願いする。」旨の説明後、本件は了承された。

【報告事項】

1 平成29年中における懲戒処分状況について

（警務部）

警察本部から「平成29年中の懲戒処分者数は23人で、処分者数は過去5年間で最多となっている。処分種別では、免職、停職及び減給が増加している。また、公私別では、私行上の事案が全体の約6割となっている。階級別では、巡査、巡査部長、警部補及び一般職員で増加した。」旨の報告があった。

2 平成29年度第3四半期（10～12月）における監察実施結果について

（警務部）

警察本部から「平成29年度第3四半期において、本部及び警察署の19所屬に対して総合監察を、また、警察署、交番等に対して計287回の随時監察を実施した。良好事項として、若手職員に対する補助面接制度を構築する取組があった。一方、指導事項として、被留置者の特性に応じた護送業務の不徹底等があり、指導を行った。」旨の報告があった。

公安委員から「若い人の非違事案が多いので、若手職員に対する補助面接制度が上手くいっているのであれば、他所屬に広げていただきたい。」「上司より、少し上の立場の者の方が話しやすく、日常的な指導であれば良い結果がでると思う。」「懲戒処分状況と監察は非常に関連が高く、非違事案防止に役立つと思うので、監察の充実に努めていただきたい。」「懲戒処分については、その都度コメントしているが、今年が正念場だと感じている。」旨の発言があった。

3 改正ストーカー規制法の運用状況等について

（生活安全部）

警察本部から「ストーカー事案の相談等件数は1,589件（暫定値）で前年比247件増加し過去最多となっている。昨年1月の改正に伴う規制対象拡大により「うろつき」「連続SNS」での検挙等を行っている。禁止命令発令件数は83件となっており、ストーカー規制法違反による検挙件数も前年比で増加している。」旨の報告があった。

公安委員から「禁止命令を出すことで抑止効果は高くなっているのか。」旨の発言があり、警察本部から「禁止命令違反で検挙した件数は6件で発令全体の約7%となっており、残りの約93%は行為の抑制効果があったと考えている。また、緊急禁止命令をかけることで検挙につながった事例もあり、抑止に繋がったと考えている。」旨の説明があった。

公安委員から「これから増加が予想される犯罪であり、禁止命令の積極活用など福岡県が全国に先駆けた取組でこのような犯罪を防止していくことが出来ればと思う。」旨の発言があった。

4 平成29年中における110番通報の状況について

(地域部)

警察本部から「110番通報の受理状況は、総件数、有効件数ともに減少傾向にあり、平成29年中は、過去5年間で最少となっている。地区別では、福岡地区が最も多く、警察署別では、博多警察署が1日当たり102件で最も多くなっている。」旨の報告があった。

公安委員から「#9110の件数は増加しているのか。警察署で受理するのか。」旨の発言があり、警察本部から「相談等を受理する#9110は、警察本部で受理しており、受理件数は増加している。警察署へ直接通報があったものは、統計はとっていないが急訴という形で受理している。今後、この急訴については統計して整理していきたい。」旨の説明があった。

公安委員から「地区別の110番受理件数は、福岡地区が多くなっているが、やはり犯罪が多いということか。」旨の発言があり、警察本部から「人口が多いところは、事件や事故も増加する傾向にある。また、福岡地区は、他県からの来訪などの昼間人口が多いため、110番件数も多くなっている。」旨の説明があった。

公安委員から「刑法犯認知件数や交通事故の減少など、110番件数は治安統計と連動したものだと思う。」旨の発言があった。

5 通信指令を中心とした緊急事態対処訓練の実施について

(地域部)

警察本部から「日本国内においても起こり得る緊急事態を想定し、その発生時の対処要領について、通信指令を中心とした部門横断的な訓練を実施し、初動警察活動の更なる充実強化を図るものであり、関係部門と連携した訓練を3回にわたり実施する。」旨の報告があった。

6 覚醒剤密輸事件被疑者の逮捕について

(暴力団対策部)

警察本部から「福岡空港警察署、薬物銃器対策課は、福岡空港税関支署と連携し、タイ王国から福岡空港へ入国する際、営利の目的で覚醒剤を隠匿し輸入した事件について、1月3日、ギリシャ共和国籍の男性を覚せい剤取締法違反で逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「タイの出国検査体制はどうなっているのか。」旨の発言があり、警察本部から「タイの検査体制はわからないが、日本への入国時点で税関による検査はしっかり行われている。」旨の説明があった。

7 交通安全教育施設ふっけいコアセンターの運用開始について

(交通部)

警察本部から「福岡自動車運転免許試験場に交通安全教育施設を整備し、高齢者等への教育を行うほか、交通関係団体等に対する講習を行うなど、同所を拠点とした交通安全教育を推進するものであり、2月2日から開始する。」旨の報告があった。

公安委員から「高齢者団体への呼びかけを行うなど、折角なので稼働率を高くして多くの人に来てもらうようにしていただきたい。」旨の発言があり、警察本部から「警察署単位での個別の声掛けなどをしていきたい。」旨の説明があった。

8 平成29年度九州管区広域緊急援助隊合同訓練の実施について

(警備部)

警察本部から「2月1日及び2日の2日間、熊本県熊本市西区において、九州管区警察局及び熊本県警察の主催で「平成29年度九州管区広域緊急援助隊合同訓練」が実施される。訓練には、福岡県警察約120名を含む九州管区広域緊急援助隊等の警察部隊が参加するほか、陸上自衛隊、消防等計7機関が参加し、地震発生による多数の死傷者を想定した訓練が行われる。」旨の報告があった。

公安委員から「本訓練は例年行われているものか。」旨の発言があり、警察本部から「そのとおり、例年行われている。」旨の説明があった。

公安委員から「ブラインド方式で実務に直結する訓練を行うのは良いことである。各部門連携して実施していただきたい。」旨の発言があった。